

# 新しい時代 新文化運動と哲学

## 8、「駅谷」は世界万民の聖地

勝利者である正道令(靈)が出現し、不老不死の聖業を成すときの姿を李書九先生は「採芝歌」という詩歌で次のごとく描写している。

「奇花瑤草 爛發せん 玉京仙藥 大風流 で 風楽音 尚良し 白髮老人 青春になり 白髮老軀 小婦になり 白髪が黒くなり 曲がった腰 伸びて 換骨奪胎したので 仙風道骨 宛然だ」

これこそ、若がり現象の具体的な描写でなくてなんであろう？ 白髮老人は青春になり、白髪が黒くなり、曲がった腰が伸びて換骨奪胎したので、まさに、そこが正道令がおられる「十勝地」になるのである。

古書と預言書によると一様に永生の道が成されるところでは甘露水が雨のごとく降り、甘露水が露のごとく降るところでは三神の神様が役事(働く)と言っている。

ところが、そのように三神が役事する場所が韓国の富川市素砂区「駅谷」だとまで明示しているので、余りにも詳細すぎて、信じない者たちには申し訳ないほどである。

「……駅谷勝地 人衆之地 鞭山城……」李芝函先生の一己亥上元日書中から—

駅谷は勝利の地、三位一体、神の地である。まさに、駅谷の‘勝利祭壇’を設立した勝利者、“曹熙星”先生、そのかたを指しているのではなくてなんだろう！

なお一層、驚嘆すべき句節は“曹熙星”先生の鍛錬した場所である密室

に対する正確な預言である。そのかたは、すべての人々を死なず老いず、再び若返るようにする生命力を露のごとく与えてくれるが、そのような「勝利者」の権威を得ることになった場所が、世の人々からは“密室”と呼ばれる、富川と蘇来の間にある老姑山と蘇来山との間に位置する盆地のような場所であった。

古書では、これに関し次のごとく明示した。

「鷄龍創業 暎星照臨 草魚禾菜之山 天下名山 老姑相望」

右の草魚禾菜というのは破字で、クサクムリの下に魚禾をおけば蘇になり、草魚禾菜之山とは蘇萊山のことである。また、“天下名山、老姑相望”とは、天下の名山である老姑山を相望めるとある。(天の神である鷄龍が事を創業すると明星が臨むところだ。蘇来山と老姑山が相望める天下の名山である)そうしておいても、或いは疑う人がいるやも知れないから、もう一度、次の如き表現で強調している。

「蘇来老姑 両山相望稀座 天藏地秘 吉星照である」

蘇来山と老姑山の両山が相望める秘稀な場所は、天が隠し地が秘めておいた吉星が照らすところと念を押し

## 9、救い主のシンボルと証抛

このように、悪魔魔鬼を殺す武器を持って魔鬼を打破り滅亡させる勝利

者を称して、古書では「正道令」だとし、正道令はその証拠として「海印」を持って出てくると言ったのである。「海印」を持って出る者こそ正道令だが、「海印」とは何を意味するものか？「海印」は正に「甘露水」であり、露の聖霊だといったのである。

「甘露」とは何かと言えば文字通り“甘い露”だが、それがまさに露聖神である。従って、露聖神を授ける者こそ救世主であり、勝利者だと言った聖書の御言葉と一致するのである。余りにも正確に一致するのである。韓国の此方、勝利者が立った講壇では、いま露が常に降り注いでいる。露が降り注いでいるから会員聖徒達の体の中にある罪の血が除去されているのである。

罪はどこにあるのか？ 血の中にあると言ったので、腐った血がまさに罪の塊である。だから、腐った血、魔鬼の死んだ死体が会員達の小便を通して放出されるのである。

また、正道令とは、勝利台の上に立つ人がまさに正道令である、と言った。勝利祭壇のここが、まさにその勝利台である。勝利者である“曹熙星”先生が古書を見てその名を付けたのではない。古書の話聞いたのは僅か一、二年前ずっと後である。古書を解釈する人たちが来て証言するので調べてみると、果たして、古書に出ている正道令が、まさに聖書という勝利者であることを理解するようになったと言っている。

そして、正道令になる勝利者が現れて何をどうするのか？ 永生を授けると言ったのである。この世で、ここ以外には永生を成すところはないのだ。実際に、死に掛かっている人を生かす

だけでなく、死なず老いずの身体に変化させてくれるのは、世界広しといえども他にはないのである。

また、正道令である勝利者が韓国の地、漢江河口堰から出られることが各所に預言してある。勝利者がもし金浦で出生せず、南の方で出生したとすれば符合しないことになってしまうだろう。ところが、余りにも符合するので勝利者も驚いているのである。

この他にも、救世真人である勝利者は辛未年で出現すると言ったし、また、天の聖業は始めも「素砂」の地であり、終わりも素砂の地で成されるとも言っているのだ。

「始終艮野 素砂地」

勝利祭壇がある、ここ、「駅谷」がまさに素砂試験所の場所である。

「土亭秘訣」書いた李芝函先生も「駅谷」が勝地だとした。「駅谷勝地 人衆之地」駅谷は勝利の地、勝利者が出現する地だとし、勝利祭壇がこの駅谷の地に建つことを五〇〇年前に既に知り、いま、その預言通り建っているのである。

勝利者である正道令は密室で隠居すると言ったが(隠居密室生活計)その勝利者は“密室”と言われるところで鍛錬を受けて出たのである。そこは正確に始興郡蘇来面桂寿三里である。老姑山と蘇来山の間に盆地のようになっている土地が、世の人々が「密室」だと称しているところである。

また、真人である勝利者が出現する吉地は“三神山下午鳴地 桂樹範朴是吉地”だとしている。勝利者になる過程において三〇年間を暮らした所が「範朴洞」であり、最後の鍛錬を受けた

所が「桂寿里」である。このような預言と証拠はいちいち列挙しきれないほど多いし、また、確実であると言える。

## 四、人類救援と生命の光

### 1、生命の光

元来、人間は永遠に生きることのできる存在である。人類が死ぬのはその精神が狂っているからであり、その狂っている精神を治せば人間は死なない存在に変わるようになるものだ。なぜなら、人間の中に神があり、元来、人間自体が神であったからである。

神様は生命の光である
“はじめにみ言葉があった。この言葉は神と共にあった。み言葉は即ち神であった。…この中に命があった。そしてこの命は人間の光であった”(ヨハネによる福音書 1：1～4節)

ヨハネ福音書にあるこの有名な文句からわかる通り、神は言であり生命である。従って、神が別にあり、言が別にあるのではなく、神の言が即ち神であり、神が即ち生命であるのだ。われわれ人間が生きることのできる生命エネルギーそれ自体が即ち神であるのだ。故に、生きている人生は凡て神のみ言葉で生きているのである。このことを証明する聖書の句は余りにも多いので列挙するのも煩わしいほどである。

このように最も聖書的な観点からみて、神は“死ぬ者の神”ではなく、“生きている生命”自体が神である。にも拘らず、神を死後、霊界において会う閻魔王の如き存在だとしているから困ったものと言わざるを得ない。

神と人間は同質性の存在である。水と水が合って一つになる如く、神と人間は一見、異質のものと思いがちだが、合って一つになることができる同質性の存在である。

聖書で“神は自分のかたちに人を創造された”(創世記 1：27)と言っているように、人間は神と同じであり、人間を指して神の子、神の息子と言っているから、人間と神は父と子の関係と同じである。故に、神の子が神になることは当然であり、動物になることはあり得ないのである。

神は空中や地の底にあるのではなく、人間の中にいますことを聖書も明らかにしているのだ。

“あなた方のうち働きかけて、その願いを起こさせ、かつ実現に至らせるのは神であって…”(ピリピ人への手紙 2：13)

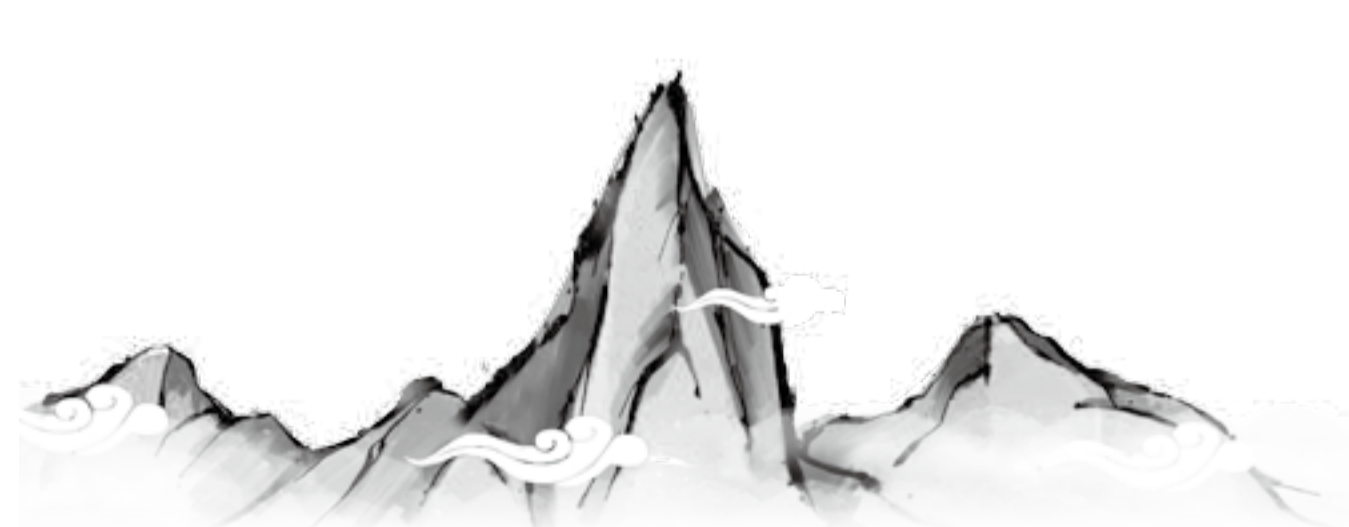
“あなたの神、主はあなたのうちにいまし、…”(ゼバニヤ書 3：17)

“わたしたちの内に宿っている聖霊によって守りなさい。”(テモテへの第二の手紙 1：14)

このように、人間が即ち神であり、人間の中にいます方が神である。にも拘らず、世の人々は神が天の空中にいて見えない存在だと言っている。そういうことで、かれらは書や天に向かい祈り、見えない存在に向かって願い事をならべているのである。だが、人に向かっては折らないのだ。そして、自分自身の中に神がおり、また、悪魔も自分の心の中に存在しているという事実を全く知らずにいるのである。\*

次の号に引き続き掲載
Subaru Kan / 新人類文化研究所長

## 정도령은 천지개벽의 마지막 주인공이다



天地配合山瀾通氣 천지배합산택통기 木火通明坤上乾下 천지배합곤상건하 地天泰卦知易理恩 지천태괘지역리은 三變成道義用正大 삼변성도의용정대 木人飛去後待人 목인비거후대인 山鳥飛來後待人 산조비래후대인 逆天者亡順天者興 역천자망순천자흥 不違天命矣 불위천명의

부부가 금슬지락을 이루듯 천지가 짝이 딱 맞으니 산택(산과 못)이 기운이 딱없음이 잘 통하고 목화(木火) 상생(相生)으로 어둠이 물러가니 밝음을 더하고 천지개벽으로 지천태괘가 되어 우주천지가 태평세계가 되나니 예리(역의 이지)의 은혜를 알리도다. 세 번의 변화(72궁, 여인 한 분, 6도 81궁 정도령을 암시하고 있기도 하다.

그 뜻이 바르고 위대하다도다. 목인(목=木)이 날아가고 뒷사람을 기다리니 산조(山鳥=崔氏)가 날아오도다. 산조가 날아온 후 또 뒷사람을 기다리느니라. 하늘의 뜻을 거스르는 자는 망하고 하늘의 뜻에 순종하는 자는 흥하니니 천명을 어기지 말지니라. 목인(목)과 산조(조), 후대인은 과거의 정치적인 인물이기도 하며 이면에는 5도 72궁, 여인 한 분, 6도 81궁 정도령을 암시하고 있기도 하다.

### 鷄龍論 계몽론

天下列邦回運 천하렬방회운 檣花朝鷄祥鷄龍地 근화조계상계몽지 天縱之聖舍德宮 천종지성합덕궁 背弓之間兩白山 배궁지간양백산

인간 세상에 오셨는가? 정도령은 본래 천상의 운중왕(雲中王)인데 오늘날 정씨 왕으로 다시 오셨느니라. 정도령은 무슨 성씨인지 모르리라. 소사에서 역사하시는 계몽(마귀를 이기신 삼위일체하나님이 좌정하신 분)은 정씨 운으로 오신 구세주(왕중왕)이시다.

鄭趙千年窮鑑說 정조천년경감설 世不知而神人知 세부지이신인지 好事多魔不免獄 호사다마불면옥 不忍出世百祖一孫 불인출세백조일손 終忍之出三年間 종인지출삼년간 不死永生出於十勝 불사영생출어십승 不入死又次運出現 불입사우차운출현 四面如是十勝 사면여시십승 百祖十孫好運矣 백조십손호운의

### 당신을 영생의 세계로 안내하는 신문

성금계좌：우체국 103747-02-134421 예금주：이승우

**승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다**

**전국 각지에서 성금을 보내주시는 분께 감사드립니다**

<b>승리신문</b>		1990.3.3 등록번호 다 - 0029
발행인 겸 편집인 김충만		
본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사람됨이 실제로 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는데 기여함을 목적으로 발행됩니다.		
경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 우 14679		<b>광고 및 구독신청</b> 전화 032) 343-9985 FAX 032) 349-0202
<b>홈페이지</b> www.victor.or.kr		본지는 신문윤리규정 및 그 실천요강을 준수합니다.